

かみのかわ

# 議会だより



Kaminokawa



磯川緑地公園遊歩道  
(とちぎの道と川100選・栃木の自然100選)

No. 163

平成28年11月1日

◆編集発行◆

上三川町議会広報委員会

〒329-0696

栃木県河内郡

上三川町しらさぎ一丁目1番地

TEL 0285 (56) 9161

## ◆目次◆

9月定例会議決事項	P2～P4
常任委員会審査結果報告	P4
決算審査意見書	P5
決算特別委員会	P5～P6
討論	P6～P7
常任委員会研修報告、臨時会	P7～P8
ここが聞きたい一般質問	P9～P15
議会のしくみ・編集後記	P16

◆9月定例会◆ ◆臨時会◆

# 平成27年度 会計決算を認定

一般会計

歳入	119億2,940万円	前年度比	13.1%(13億8,510万円)増
歳出	113億 361万円	前年度比	13.2%(13億1,837万円)増

このようなことが  
決まりました

## 定例会

平成28年第5回町議会定例会が9月2日から20日までの19日間の会期で開催されました。  
(※採決に議長は加わりません。)

## 同意

◆ 議案第45号  
教育委員会教育長の任命につき同意を求めることについて

平成28年11月9日をもって任期満了となる森田良司氏(真岡市)の再任命に同意しました。  
(採決結果 賛成14 反対1)

◆ 議案第46号  
教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて

平成28年9月30日をもって任期満了となる石戸照子氏の後任として、平成28年10月1日から関美恵氏

(大字梁)を任命することに同意しました。  
(採決結果 全員賛成)

## 条例制定等

◆ 議案第47号  
上三川町行政財産使用料条例の一部を改正する条例の制定について

電気自動車用急速充電器の使用料を徴収するため、改正するものです。  
(詳細 総務文教常任委員会報告)

(採決結果 賛成13 反対2)



電気自動車用急速充電器  
(いきいきプラザ敷地内)

◆ 議案第48号  
財産の取得について(消防ポンプ自動車)

消防自動車更新計画に基づき、老朽化したポンプ自動車を更新するものです。  
(詳細 総務文教常任委員会報告)

(採決結果 全員賛成)



消防ポンプ自動車

## 補正予算

◆ 議案第49号

平成28年度上三川町一般会計補正予算(第3号)  
5,002万円の減額

【歳入】

障がい児通所支援事業の利用者の増加による国庫支出金の増額、防

災機能強化事業の補助金の減額等です。

【歳出】

自治体情報セキュリティ強化対策事業委託料及び街路整備事業委託料の増額等です。

(採決結果 賛成14 反対1)

◆ 議案第50号

平成28年度上三川町国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)

4,642万3千円の追加

【歳入】

前年度繰越金の増額及び基金繰入金の減額等です。

【歳出】

前年度国庫負担金の精算に伴う償還金の増額等です。

(採決結果 全員賛成)

◆ 議案第51号

平成28年度上三川町介護保険事業特別会計補正予算(第1号)

1億779万5千円を追加

【歳入】

前年度繰越金の増額です。

【歳出】

平成27年度事業費の精算に伴

う介護給付費準備基金積立金の増額等です。

(採決結果 全員賛成)

◆ 議案第52号

平成28年度上三川町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)

394万円を追加

【歳入】

前年度繰越金の増額等です。

【歳出】

後期高齢者広域連合納付金及び一般会計繰出金の増額等です

(採決結果 全員賛成)

◆ 議案第60号

平成28年度上三川町一般会計補正予算(第4号)

462万7千円を追加

【歳入】

財政調整基金繰入金の増額です。

【歳出】

井川の護岸補修に係る工事請負費等の災害復旧費の増額です。

(採決結果 全員賛成)



大雨で崩れてしまった井川の護岸

認定

平成27年度の一般会計、特別会計歳入歳出決算及び水道事業会計剰余金の処分及び決算は、監査委員の決算審査意見書をつけ上程され、決算特別委員会に付託し審査を行いました。

決算特別委員会における審査結果の報告を受け、本会議で認定しました。

(詳細 5頁〜6頁)

◆ 議案第53号

平成27年度上三川町一般会計歳入歳出決算

(採決結果 賛成13 反対2)

◆ 議案第54号

平成27年度上三川町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算

(採決結果 賛成14 反対1)

◆ 議案第55号

平成27年度上三川町介護保険事業特別会計歳入歳出決算

(採決結果 賛成14 反対1)

◆ 議案第56号

平成27年度上三川町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算

(採決結果 賛成14 反対1)

◆ 議案第57号

平成27年度上三川町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算

(採決結果 全員賛成)

◆ 議案第58号

平成27年度上三川町農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算

(採決結果 全員賛成)

◆ 議案第59号

平成27年度上三川町水道事業会計剰余金の処分及び決算

(採決結果 全員賛成)

# 報告

## ◆ 議会の委任による専決処分事項の報告について

上三川小学校屋内運動場新築工事請負契約の変更について報告がありました。



新築工事中の上三川小学校屋内運動場

## ◆ 平成27年度健全化判断比率及び資金不足比率について

監査委員の審査意見を付して平成27年度の財政指標が報告されました。

健全化判断比率は実質赤字比率と連結実質赤字比率は赤字がないため、実質公債費比率は6.4%将来負担比率は充当可能財源等が将来負担額を上回るため、資金不足比率については、各公営企業会計に赤字がないため該当しません。いずれの指標も早期健全化基準を大きく

下回りました。

## ○ 財政指標

比率名	平成27年度決算に基づく比率	早期健全化基準
1 実質赤字比率	—	14.08
2 連結実質赤字比率	—	19.08
3 実質公債費比率	6.4	25.0
4 将来負担比率	—	350.0

(単位：%)

注1…実質赤字比率及び連結実質赤字比率は、実質赤字額がないため「—」と表示しています。

注2…将来負担比率は、充当可能財源等が将来負担額を上回るため「—」と表示しています。

## ◆ 公益財団法人上三川町農業公社の経営状況説明書の提出について

平成27年度の事業報告・決算及び平成28年度の事業計画・予算が報告されました。

## 議員派遣

### ◆ 議会運営委員会視察研修

【目的】議会改革について

・議会基本条例について

【期間】10月26日・27日

【場所】山形県上山市  
山形県天童市

## 常任委員会審査結果報告

本会議において付託された案件について9月8日に委員会を開き、所管課の説明を受け審査を行いました。

主な審査の内容・結果は次のとおりです。

## 総務文教常任委員会

(議案第47号)

問 急速充電器の使用状況は。

【答】平成27年度の使用台数は推計で1,743台、1日あたり約5台です。

問 有料急速充電器の設置数は。

【答】県内の設置自治体の約7割が有料化しており、全設置台数28台のうち19台が有料となっています。

(議案第48号)

問 老朽化した消防自動車の使用年数と走行距離数は。

【答】使用年数は18年5ヶ月で、走行距離は約2万キロです。

問 今後の更新予定は。

【答】使用年数が18年経過した車両を更新する計画です。

議案第47号及び議案第48号は  
全員賛成により、原案どおり  
可決しました。

### 決算審査意見書 (要旨)

町監査委員より決算の審査結果の報告がされました。

館野治信 監査委員  
石崎幸寛 監査委員

#### 【審査の対象】

○平成27年度一般会計

○平成27年度特別会計

○平成27年度水道事業会計

#### 【審査の結果】

一般会計決算書及び特別会計決算書並びに付属書類は正確で、目的に従い執行され、内容も適正であると認められました。水道事業会計決算書及び付属書類についての内容も適正であると認められました。

経常収支比率が改善するなど、財政状況が好転してきているように見えるが、町税収入が減り、扶助費等の経常経費が増加し続ける  
と暗転してしまう恐れがあります。  
中期的計画に基づいた歳入確保、適正な事業の取捨選択による歳出削減に努め、将来を見据えた安定した財政運営が図られることを願  
い審査結果報告と致します。

### 決算特別委員会

9月13日、9月14日の2日間に、各常任委員会から選出された代表者6人と、副議長を加えた7人で、所管課の説明を受けながら、平成27年度会計の決算審査を行いました。

委員長	稲川 洋
副委員長	高橋 正昭
委員	神藤 昭彦
委員	稲見 敏夫
委員	松本 清
委員	稲葉 弘
委員	田村 稔



所管課の説明を受ける決算特別委員

#### ◆主な質疑

##### (一般会計)

**問** ふるさと納税の返礼品の内容は。

**答** 納税金額2万円に対し4,000円から6,000円のものをお返し、主に「とちおとめ」や「スカイベリー」を贈呈しています。

**答** 悪臭軽減等を図るために購入する資材の一部を助成するものです。実績は3件です。

**問** 消防団員の出勤状況は。

**答** 平成27年度は主に火災による出勤で、住宅や車両等の火災11件です。火災は減少傾向にあります。が、集中豪雨等の災害が多いため、今後は水防による出勤の増加が予想されます。



**問** マイナンバーカードの申請数は。

**答** 申請者数は2,274人で、町民全体の7.3%にあたります。

**問** 図書館の利用状況は。

**答** 入館者数は71,992人、貸出者数は26,937人で、貸出資料数は149,885点です。



町消防団 消防操法大会

**問** 畜産臭気等対策事業補助金の内容は。



町立図書館

(国民健康保険事業特別会計)

問 資格証明書<sup>(※1)</sup>の発行状況は。

答 7月末現在で100世帯、125人に交付しています。また、高校生以下については短期納期保険証で対応しています。

(介護保険事業特別会計)

問 寝たきり高齢者等介護手当事業の対象者は。

答 要介護認定3以上で寝たきり等の高齢者を介護している家族に対し支給しています。延べ349件交付しています。

(後期高齢者医療特別会計)

問 保険料の未済者数<sup>(※2)</sup>は

答 47人です。

(公共下水道事業特別会計)

問 受益者負担金滞納者への対応は。

答 過年度の滞納繰越分は83人です。訪問等により引き続き督促<sup>(※3)</sup>に取り組みます。

(農業集落排水事業特別会計)

問 各処理区の接続率は。

答 平成27年度末で、大山地区9.7%、北東部地区6.7%、1%、東部地区7.6%、1%、南部地区4.9%、8%です。

(水道事業会計)

問 企業債<sup>(※3)</sup>において、高利率となつている借入れ年度があるがその理由は。

答 該当年度が好景気であったことから高利率となりました。

◆ 審査結果報告 ◆

一般会計、国民健康保険事業特別会計、介護保険事業特別会計、後期高齢者医療特別会計については賛成多数で、公共下水道事業特別会計、農業集落排水事業特別会計については全員賛成で決算を認定、水道事業については、全員賛成で剰余金の処分を可決及び決算を認定することに決定いたしました。

「反対討論」

反対の討論を行います。農業振興費、就農給付金について、就農者はわずか3人で、農業後継者の育成、地域農業活性化にはほど遠い内容です。

また小中学生のいる低所得の家庭に対しての就学援助制度については、本町の援助率は3.8%、全国の援助率が平均15.3%と大きく乖離<sup>(乖離)</sup>しています。教育、子育てに対する予算は将来の投資であり、お金を惜しむものではありません。

国民健康保険事業について、保険税徴収率は72.6%です。負担能力を超えた保険税は引き下げべきです。また、保険給付費が4.5%伸びており、レセプト点検実施による糖尿病等を重症化させない取り組みが必要です。以上のことから町民の暮らしを支えるには不十分な決算といわざるを得ないため認定には反対いたします。

討論 (抜粋)

平成27年度各会計決算の認定について、賛成・反対、それぞれの立場から討論が行われました。

「賛成討論」

賛成の立場で討論を行います。決算の内容を精査しますと、一般会計は、健全財政の維持に向け、歳入の確保、歳出の精査等の努力

が読み取れます。また、町債においては発行額を抑え、残高を年々減少させており、努力の結果であると思えます。

事業では、子ども医療費助成の現物給付の導入など子育て等に対する福祉政策に力を入れています。

さらに、特別会計及び水道事業会計においてもすべて黒字決算または利益を計上しており、厳しい財政のなか堅実な運営がされている決算内容と思えます。

今後においても各種施策を確実に実行すると共に、中長期的展望にたった弾力性のある財政運用を要望し、賛成討論とします。



**常任委員会  
視察研修**

◆総務文教常任委員会

【視察研修内容】

・空き家対策について

7月27日 新潟県見附市

・食の循環によるまちづくりについて

7月28日 新潟県新発田市  
総務文教常任委員長 高橋 正昭

**新潟県見附市**

【空き家対策の取り組み】

見附市は、有数の豪雪地帯です。放置された空き家が大雪で倒壊する問題が顕著化し、行政への苦情が殺到したことなどから、「空き家等の適正管理に関する条例」制定・施行の運びとなりました。

空き家対策の取り組みは、空き家の調査、危険度の判定、空き家管理者への勧告や支援策の検討、そして危険な空き家の発生を抑制するなど多岐にわたることから、関係部署の連携が欠かせないとのことでした。

こうした取り組みにより、条例施行前は空き家の再利用2件、解体5件であったのに対して、施行後は、修繕22件、解体22件となり、また、危険な空き家55件について解決ができたとのことです。

**新潟県新発田市**

【食の循環によるまちづくりへの取り組み】

新発田市では、平成18年度に策定した「新発田市まちづくり総合



見附市役所にて担当者より説明を受ける

計画・中期基本計画」に「食（食育）を中心に据えた重点課題の推進」を掲げ、平成20年に「新発田市食の循環によるまちづくり条例」を制定しました。

豊かな大地が育む作物を食べ、残渣を大地に還すという「食の循環」に改めて着目し、食を生産する農業や加工する商業の発展、食に関する教育、残渣処理などによる環境保全など、全てが循環することによって「地域活性化」や「市民生活の質の向上」に繋がることを目指しています。

両市とも抱える問題点に積極的に取り組む姿勢を見聞きし、大変有意義な研修となりました。

◆産業厚生常任委員会

【視察研修内容】

・健康寿命延伸都市創造に向けた取り組みについて

7月21日 長野県松本市  
子育て支援の取り組みについて

7月22日 東京都福生市  
産業厚生常任委員長 稲川 洋

**長野県松本市**

【健康寿命延伸都市創造に向けた取り組み】

松本市は、平成22年度に「健康寿命延伸都市松本」を掲げ、健康を維持したままで過ごせる期間を少しでも長くするための事業を行なっています。

各地区に「健康づくり推進委員」や「体力づくりサポーター」を設置し、健康づくりの輪を広げる運動を推進しています。

さらに市内に380人程度のボランティアからなる「松本市食生活改善推進員」を設置し、家庭訪問事業を行うなど、市の全庁を挙げて健康寿命延伸に向けての施策の整合性に納得させられました。

当町の健康マイレージ事業と同様の、認知症予防のためのポイントプログラムを導入するなど、目新しく先進的な事業を多く実施していることに感銘を受けました。

東京都福生市

【子育て支援の取り組みについて】  
福生市は「子育て支援の街」として注目を集めている市です。

市独自に作成した「子育てハンドブック」や「児童虐待防止マニュアル」等を作成しています。ハンドブックには、事例などを詳細に記載し、子育てに関する不安の除去等に役立てています。

また、東京都の促進事業の一環でもある、就学前の子どもが利用できるショートステイ事業・産前産後支援ヘルパー事業などの多くの事業を通じ、家庭と教育の両輪での支援体制を整えています。

子ども達を健全に育てることを街づくりの一貫としており、この少子化の中でも人口増に転じています。市内横断的に子育て推進を行う施策に感銘を受けました。



福生市「子ども家庭支援センター」にて

委員会研修報告

◆広報委員会

【研修内容】

・議会広報誌編集について

7月12日 全国町村議員会館

(東京都千代田区)

広報委員長 神藤 昭彦

広報委員会では、全国町村議会議長会主催の平成28年度町村議会広報クリニックに参加してきました。

北海道・東北・関東ブロックから48町村議会が参加し、2つの分科会に分かれて研修が行われました。本町が属した分科会では、広告アナリストである吉村潔氏が講師をされ、福島県富岡町、壬生町などの7町村において過去に発行された、議会広報紙を基に講評を行うものでした。

吉村氏は「自治体議会の存在感を示す広報となっているか。」「住民の知りたいニーズに込えているか。」「定例会のお知らせに終始していないか。」などをチェックポイントとして挙げ、的確な指導、指摘がありました。



研修の様子

具体的な指導・指摘事項として「表紙が人物写真である場合は、誰か1人を主役に決め、中心に撮影したほうが良い」「タイトルを補完したイメージ写真や解説が必要」などがありました。

研修を通じたのは、「写真を多く採用し、それはスナップ写真にならないようにすること」、「表紙写真は臨場感や躍動感を表現することが大切である」ということです。また、「掲載している記事の関連情報などには、QRコードを付けるなどして町民が気になった情報に気軽にアクセスすることが出来るようにすること」ということでした。

今後は研修で学習したことを活かし、わかりやすく、親しみやすい広報紙作りに邁進していきたいと思えます。

臨時議会

平成28年第4回町議会臨時議会が8月2日に1日の会期で開催されました。

(出席議員は16人です。なお、採決に議長は加わりません。)

契約

◆議案第43号

工事請負契約の締結について  
(上三川町デジタル移動系防災行政無線整備工事)

町内にデジタル移動系防災行政無線を整備するため、工事請負契約を締結するものです。

【契約金額】 9,666万円

【契約相手方】宇都宮電子株式会社

(採決結果 賛成14 反対1)

補正予算

◆議案第44号

一般会計(第2号)

5億4,792万円を追加

【歳入】

防災行政無線の整備に係る消防債の増額等

【歳出】

妊婦健康診査に係る交付金の増額等

(採決結果 賛成14 反対1)



一般質問日：平成28年9月5日

● いなば ひろし  
稲葉 弘 議員

- ・こどもの生活習慣改善事業(生徒児童への血液検査実施)
- ・認知症サポーター養成(取り組み状況)
- ・健康づくり(保健師の活動内容・増員の考え)
- ・ふるさと納税(増税、クレジット決済・インターネット申込みの導入)
- ・中学校の部活動(顧問の残業時間数、子どもの成長と教員の過重労働への考え)
- ・下水道基本料金改正(高齢者・単身者の負担軽減)

● しのづか けいいち  
篠塚 啓一 議員

- ・かみたんメール(登録者数、登録者増への施策)
- ・町ホームページ(スマートフォン対応への考え)
- ・夏休み学習サポート事業(反省点と今後の課題、春・冬休み実施の考え)
- ・小中学校のエアコン設置(設置時期)

● しどり かつり  
志鳥 勝則 議員

- ・町のブランド化推進(特産品、景観施設を利用したブランド化推進)
- ・地方分権での権限移譲(地方分権・権限移譲による専門的事務への対応)
- ・町長の公約(「活力に満ちた産業のまち」への構想)

● いながわ ひろし  
稲川 洋 議員

- ・学童保育(学童保育の光熱水費の計上、他の事業との連携)
- ・介護教育(生活習慣・介護に対する教育の考え)
- ・障がいを持つ方への自立支援への取り組み(自立支援サポート事業所の現状・支援策)

● かつやま しゅうすけ  
勝山 修輔 議員

- ・町税使用と基金のあり方(町税の使用、基金の管理・取り崩し、地方財政法第4条の3の適切な判断と解釈)
- ・インフラ整備(整備・修繕、要望への対応、防災無線使用・運用の考え)
- ・人口増についての考え(「まち・ひと・しごと総合戦略」の内容、人口増への施策)

ここが聞きたい  
一般質問

10人の議員が登壇

※一般質問の内容は、質問・答弁を広報委員会にて要約したものを掲載しています。

一般質問日：平成28年9月6日

● えびはら ともこ  
海老原 友子 議員

- ・選挙対策(入場券への期日前投票用宣誓書記載)
- ・ふるさと納税(赤字の理由と今後の対策、クレジット払い導入)
- ・子育て支援(産後うつへの対策)

● しんどう あきひこ  
神藤 昭彦 議員

- ・子育ての経済的負担(医療費助成の予算、支援の拡大・インフルエンザ予防接種助成)
- ・高齢者の事故防止対策(高齢者の安全対策、運転免許証を返納した高齢者への支援)
- ・薬物乱用防止教育(小中学校での薬物乱用防止教育)

● うつぎ のりお  
宇津木 宣雄 議員

- ・自主防災組織の設置と取り組み(取り組みの内容)
- ・消防団詰所の整備(消防団詰所の整備計画)
- ・小中学校教室のエアコン設置(整備の費用・計画内容)

● たかはし まさあき  
高橋 正昭 議員

- ・これから抱える学校教育の問題点(予想される今後の児童・生徒数、通学区域変更の考え、小中一貫学校)
- ・中学生のヒロシマ派遣(派遣の考え)
- ・集落に取り残された旧河川(豪雨等による被害への対処)

● おがわ きみたけ  
小川 公威 議員

- ・ふるさと納税(実績を踏まえた今後の方針、返礼品選定)
- ・保育施設における待機児童対策(具体的な対策)
- ・結婚活動支援(現状と今後の取り組み)



### 子どもの生活習慣改善事業

**問** 生活習慣改善事業として、小学4年生、中学2年生への血液検査実施の考えは。

**答** 健康課長 生活習慣病予防対策事業は実施していませんが、就学時検診の機会に、正しい生活習慣についての講話を実施するなど、学校と連携し、生活習慣病予防に関する知識の普及を図っています。

### 中学校の部活動

**問** 部活動顧問の残業時間は。

**答** 教育長 平日の時間外手当は支給されていないため時間数の把握はできませんが、ほとんどの場合、勤務時間外に部活動を



いなば ひろし  
稲葉 弘 議員

施しています。

**問** 子どもの成長と教職員の過重労働改善に対する考えは。

**答** 教育長 子どもの成長に、調和のとれた部活動は有意義なものです。次期学習指導要領でも、継続可能なあり方を検討することとされています。

国における、学校現場の業務適正化に関する検討報告では、部活動の負担を大幅に軽減することが示されました。来年度にガイドラインが示される予定です。

今後も地域の教育力や、人材の協力を得ながら、業務の改善・適正化に努めます。

### 下水道料金改正の考え

**問** 単身者、高齢者の負担軽減への考えは。

**答** 上下水道課長 健常者以外の単身者・高齢者等に対しては、負担軽減について検討する余地はあると思います。

公営企業や町の財政状況をみながら、県内自治体の動向を参考にして、時期を含め慎重に検討をしていきます。

### 小中学校のエアコン設置

**問** 学校環境衛生基準で教室内温度は30度以下が望ましいとされているが、町長の考えは。

**答** 町長 児童生徒等が生理的・心理的に負担のかけられない学習教育環境は、室温30度以下が望ましいと考えます。

**問** 平成30年度に町内全校の普通教室へ設置されることでよいか。

**答** 教育長 平成29年度から実施計画に空調機の整備に向けた調査設計を計上し、平成30年度から順次整備していく予定です。



しのづか けいいち  
篠塚 啓一 議員

### 町のホームページ

**問** スマートフォンに対応したホームページ構築の考えは。

**答** 企画課長 現在の管理ソフトウェアではスマートフォン用のサイト作成ができません。スマートフォンとパソコン用ホームページを総合的に管理できるシステムの導入は、費用が多額となるため考えていません。

### 夏休み学習サポート事業

**問** 3年目の事業を終えて、反省点と課題は。

**答** 教育長 本年度は、6人のボランティア講師のご尽力により、充実した内容で授業展開をすることができました。

主な反省点について、1点目はボランティア講師募集が十分ではなく、1人の講師が20人の生徒を見ることがあり、講師の負担となっていました。今後は、積極的に募集を通年で行いたいと考えます。

2点目は、ボランティア講師との打合せを個別に行ったことにより、指導法等の共通理解が十分に図れなかったことです。次回は事前に協議の機会を設けたいと考えます。

志鳥 勝則 議員



### 町長2期目の公約

**問** 公約に「活力に満ちた産業の町、農業と商業の連携を図り、新たな工業用地フレーム確保を指します。」とあるが、どのような構想か。

**答** 町長 「農業と商業の連携」については、特産品のブランド化、6次産業化など付加価値を高めるための取り組みを推進します。「工業用地フレームの確保」については、第7次総合計画の基本構想に位置づけ、実施時期や財源の確保等について調査研究を進めているほか、本年度策定中の都市計画マスタープランにおいても新たな工業用地の確保を位置づけます。また、今年度から企画課に土地利用調整係を新設し、工業用

### 町のブランド化推進

地フレーム確保体制を強化し取り組んでいます。

**問** 特産品・景観施設等のブランド化による、地域活性化推進の考えは。

**答** 町長 特産品や資源等の積極的な情報発信は、最終的に地域経済の活性化につながると考えています。

町の特性を活かし、生産・加工品から特に優れたものを上三川ブランドとして認定する制度導入について、早期に実現できるように調査研究をしていきたいと考えます。

### 地方分権に伴う権限移譲

**問** 権限移譲により専門的知識が必要とされる事務が増加しているが、どのようなものが困難な事務なのか。

**答** 町長 地方分権の推進や事務の権限移譲により、事務内容が高度化、多様化しています。

こうした中、限られた人材の中で多様な課題に、柔軟かつ的確に対応するための人材育成が急務です。

職員の資質向上、法務能力等の向上のため、職場内外での研修を実施しています。

稲川 洋 議員



### 学童保育

**問** 学校施設を利用して学童保育の光熱水費を、学校と分離し計上する考えは。

**答** 福祉課長 電気料は1つの建物に2つ以上のメーターをつけることができず、また、水道料金についても学校事業との併用箇所が多く、明確に分けることが不可能であることから、光熱水費の分離した管理は行えないと考えます。

**問** 「放課後(こども教室)等同様な事業との連携は。

**答** 福祉課長 国において学童保育と放課後子ども教室推進事業を連携した、総合的放課後対策を推進しています。町としても、相乗効果により

各事業がより良いものとなるよう、連携による効果を精査し、前向きに検討していきます。

### 介護教育

**問** 健康寿命を延ばすための教育や介護の大切さ、要介護者に対する教育への考えは。

**答** 教育長 小中学校では、家庭科、保健の授業において、食事の質・運動習慣など生活習慣病についての学習をしています。

介護教育については、理解を深めるため、体験の機会を設けることも大切と考えます。共に生きる社会推進のため、発達段階に応じた指導を継続したいと考えます。

### 障がいを持つ方の自立支援

**問** 自立支援サポート事業所の状況と、事業所製品の町事業への導入。

**答** 福祉課長 町内に日中活動を支援する施設が3ヶ所、外出支援等をする施設が2ヶ所あります。町では、作業所の製品等の調達を本年度は50万円を目標にしています。

目標達成が間接的支援となるため積極的な取り入れを図りたいと考えます。

### インフラ整備

**問** インフラの整備、修繕の考え。

**答** 町長 インフラ整備は、総合計画の中における、まちづくり計画の各施策の中に位置づけ、事業を実施しています。

修繕については、インフラの更新、長寿命化等を計画的に行うことを目的とした、公共施設等総合管理計画を策定中です。今後はそれを基に財政状況等を調整しながら実施したいと考えます。

**問** 市街化区域と調整区域のインフラの差とは。

**答** 町長 計画的な市街化を図るため、市街化区域と市街化調整区域に分かれています。市街化区域の整備手法とし



かつやま  
**勝山**  
しゅうすけ  
**修輔**  
議員

ては、市街地整備事業や土地区画整理事業などがあります。

**問** 整備要望への対応の決め方。

**答** 町長 緊急性・必要性を十分考慮し、地域実情に合わせた、より重要度の高い路線から整備を進めています。

**問** 防災無線運用にあたっての、上三川消防署との関係は。

**答** 町長 現在整備を行っている防災無線は、石橋地区消防組合設置の消防緊急無線とは別であるため相互通話はできません。

ただし、整備計画において、上三川消防署に無線配備の計画があるため、消防署と町の連絡体制は十分と考えます。

**問** 町道の新設・増設の考えは。

**答** 町長 生活道路については、地域の要望と緊急性などを考慮し、整備を図っています。

幹線道路については、財政状況をみながら計画的な整備推進をしていきます。



道路工事の様子

### 選挙対策

**問** 期日前投票用宣誓書を投票所入場券に記載する考えは。

**答** 総務課長 入場券に宣誓書を記載することは、公職選挙法上の規定はないため、可能と考えますので、町選挙管理委員会での検討をお願いしたいと考えます。

### 子育て支援

**問** 産後うつに対しての町の対策は。

**答** 健康課長 産婦の方にアンケートを行ったところ、およそ10.9%の方が産後うつの傾向がみられる結果となりました。支援については、生後1ヶ月前後の全ての産婦に助産師又は保健師が訪問しています。その



えびはら  
**海老原**  
ともこ  
**友子**  
議員

際に赤ちゃんの体重測定や、保健指導、育児不安に関する相談を受けるなどを行っています。

訪問の結果から、更なる支援が必要と思われる場合には、保健師が対応しています。

また、個別の支援までが必要がないと考えられる場合においても、電話相談などの場があることを伝え、育児の悩みを抱え込まないような働きかけを行っています。

### ふるさと納税

**問** 平成27年度において赤字となった理由と、今後の対策は。

**答** 町長 平成27年度寄附金は36件、387万5千円です。一方、町民の他市町への寄附金は、196件、936万円でした。

赤字の理由として、平成26年度より多額の寄附がありました。が、それ以上に町民の他市町への納税が、増加したことによるものです。

今後は、町特産品の発信、あるいは発掘の場として返礼品の拡充、利便性を考えインターネットによる申請などを検討しています。



### 子育てに係る経済負担

**問** 医療費助成・子育て家庭への支援拡充の考えは。

**答** 町長 児童医療費助成制度は、平成27年度から、中学3年生までの児童全てが現物給付による助成となり、助成額が増加しました。今後も引き続き中学3年生までの助成を継続する考えです。

**問** インフルエンザ予防接種への助成の考えは。

**答** 町長 幼児期に予防接種した場合の発病防止効果が30%との報告があり、必ずしも有効であるとは言えないことから、今後の町民ニーズや国の動向を注視して検討したいと考えます。



### 高齢者の交通事故防止策

**問** 高齢者の事故が増えているが、安全対策についての考えを問う。また、免許証を自主返納した方への対応は。

**答** 町長 警察と連携した交通事故対策を推進しています。具体的には、総務課に配置している栃木県警交流職員を中心に、高齢者対象の交通安全教室の開催や交通安全街頭活動を行っています。今後も、交通安全意識の高揚を図り、交通安全対策を推進します。



高齢者への交通安全教室

また、免許証を自主返納した方への対応は。

宇津木 宣雄 議員

### 自主防災組織

**問** 自主防災組織に対する取り組みは怎么样了。

**答** 総務課長 平成26年度に自主防災組織設立推進計画を定め、平成27年度は15自治会の自治会総会・役員会などに役場職員が伺い、重要性・必要性などの説明をして、推進を図ってきたところです。現在、8自治会が設置済みです。

平成28年度は、8月に20自治会を対象に説明会を行っています。今後5年間で40自治会での組織設立を目標とし、設立後は防災訓練等の支援など、継続したサポートを考えています。



### 消防団詰所の整備

**問** 詰所のトイレ等施設整備の計画は。

**答** 総務課長 消防団の12詰所のうち、6カ所でトイレが未整備となつています。未整備の詰所については、順次整備を行う計画です。平成28年度につきましては、1カ所の整備を行っております。

また、老朽化で建て替えを検討している詰所もあるため、状況を考慮しながら、整備計画に従い、整備を行います。

### 小中学校のエアコン

**問** 設置にはどの位の費用が掛かるのか。

**答** 教育長 設置費用は1教室あたり220万円に消費税が加算されます。

教育委員会では、普通教室14室に加えて、音楽室、家庭科室など未設置の特別教室64室分を併せた、178台分の設置を計画しています。

### 点 これからの学校教育の問題

**問** 各校児童数平均化のため通学区域変更の考えは。

**答** 教育長 現在の通学区域は、自治会のコミュニティ醸成を図るため、自治会を単位としています。安定性・継続性が大切であり、地域に根ざし、地域と共に築く学校づくりが求められています。長期的な展望のなかで、地域の意見も踏まえていきたいと考えます。



高橋 正昭 議員

### 答

都市建設課長 町道の横断暗渠部の土砂堆積がひどく、河川の流れを阻害して、豪雨時などでの溢水の原因になっているものと考えられます。

水路の高さや暗渠内の現況調査を行うと共に、自治会や隣接地権者からの意見を聴いて対応を検討したいと考えます。

### 中学生のヒロシマ派遣

**問** 県内10市町がヒロシマ平和記念式典に中学生を派遣しているが、町の考えは

**答** 総務課長 恒久の平和は全ての人の念願であり、戦争の悲惨さや平和の大切さを次世代に引き継いで行くことは大切なことです。

町では、「ヒロシマ・ナガサキ原爆写真ポスター展」を11月から12月にかけて約1ヶ月間、各3中学校等にて実施しました。今年度も、より多くの方に原爆の恐ろしさ、戦争の悲惨さを伝える手段として、「原爆写真ポスター展」を実施します。そのため、現在のところ広島県への派遣は考えていません。

### ふるさと納税

**問** 返礼品の選定方法は。

**答** 総務課長 寄附をしていただく方の要望等を聞きながら、安定的な出荷体制がとれる品として、主にかんぴょうやイチゴなどの農産物を返礼品としています。今後は、農産物等のブランド化を検討している産業振興課とも協議し、返礼品の充実等について検討していきたいと考えます。

### 待機児童対策

**問** 待機児童をださないための具体的な対策はあるのか問う。

**答** 福祉課長 町では平成27年3月に5カ年を計画期間とする「上



小川 公威 議員

### 結婚活動支援

**問** 現状と今後の取り組みは

三川町子ども・子育て支援事業」を策定し、少子化の動向をみながら、保育の必要量を見込み、実施事業を計画的に進めています。また、保育施設の定員を計画的に増やすため、整備費を助成し、法人の経費負担を軽減することで、整備しやすしい環境を整えています。

さらに、県の保育士・保育所支援センター等を活用し、保育士の確保を進めます。

### 答

町長 町の商工会青年部による出会いの場創出のための婚活イベントを実施しています。さらに今年度は、下野市・壬生町との広域連携事業として、地元男性と首都圏女性を対象とした、1市2町をバスでめぐる結婚支援活動を3回実施する予定です。

現在、10月下旬の開催に向けて準備を進めています。



1市2町で実施する「連携婚活バスツアー」チラシ



### 議会を傍聴しませんか

議会では、町の将来や皆さんの身近な問題、町の重要施策が審議されます。ぜひ、傍聴にお越しください。

#### ◆手続きは簡単!

【受付】議会当日、役場4階議会事務局にて、傍聴人受付簿に住所・氏名などをご記入ください。傍聴券を先着順で交付いたします。

#### ◆次回は12月定例会を開会予定です。

日程等は決まり次第、広報かみのかわ・町のホームページでお知らせします。

<http://www.town.kaminokawa.tochigi.jp/>

▶問い合わせ先 上三川町議会事務局 電話56-9162

## ぎかい 議会のしくみ ~未来のゆうけんしゃの有権者へ

### ぎちよう ふくぎちよう 議長と副議長

ぎちよう ふくぎちよう 議長と副議長は、16人の議員ざいんの中から、議員せんきよが選挙で決めます。



#### やくわり 議長の役割

議長は、クラス委員長のように議場ぎじょうでの話し合いの時に進行をしたり、議会ぎかいの代表として、会議かいぎや式典しきてんに出席したりします。



#### 副議長の役割

副議長は議長の仕事を助けたり、議長が病気などで会議・式典に出席できないときに議長のかわりをします。

#### ◆編集後記◆

長雨が続く9月、議会定例会で10人の議員が町を良くするために一般質問を行いました。町民の皆様が住んでよかった町を頑張つて作っていききたいと思ひます。

実りの秋、食欲の秋またスポーツの秋となりました。皆さまには健康づくりをしていただきたいと思います。

新人議員としてまもなく1年が経過しようとしています。

一般質問を終え、そして、なれない議会だより編集作業をしていますが、今後も町民目線、町民感覚を忘れずに、議会だよりを作成していきたいと思ひます。

(宇津木)

#### 広報委員会

- |      |       |
|------|-------|
| 委員長  | 神藤 昭彦 |
| 副委員長 | 海老原友子 |
| 委員   | 宇津木宣雄 |
| 委員   | 志鳥 勝則 |
| 委員   | 田村 稔  |